

教育振興運動メールマガジン

「みんなで教振！」通信 ★家庭学習と読書推進のポイント教えます★

---

☆☆☆ このメルマガの内容とは？ ☆☆☆

このメールマガジンは、教育振興運動全県共通課題（「家庭学習の充実」と「読書活動の推進」）の推進にあたり、実践事例の紹介や意見交流を行うために、各実践区事務局、県内小中学校、市町村教育委員会、県内指導主事・社会教育主事、そのほか関係者の方々に送信しているものです。

---

< 目 次 >

- 1 【事例紹介6】 「上長山小学校実践区（雫石町）」 ≪読書推進≫
  - 2 【家庭学習】 「学習定着度状況調査」を終えて
  - 3 【読書推進】 レッツ！読み聞かせ（その7）  
～読み聞かせ方 5「その他の気配り編」～
  - 4 【教振は今】 教ちゃん、振ちゃん見聞録
  - 5 【みんなの声】 ペっこ言い隊
  - 6 【編集後記】 あつしのひとりごと
- 

1 【事例紹介6】 「上長山小学校実践区（雫石町）」 ≪読書推進≫

「思わず夢中になりました。」・・・素敵なキャッチコピーですね。

今日から11月9日までの間は、『読書週間』です。皆さんの市町村や実践区、学校でも、この期間に合わせて読書活動を啓発する取り組みがおこなわれていることと思います。子どもたちが夢中になる時間を作ってあげたいものですね。

そこで今回は、『読書活動の推進』を町の共通実践課題としている雫石町の紹介です。「上長山小学校実践区」では、それぞれの立場で工夫した取り組みが展開されております。

詳しい紹介は、こちらまで。（紹介事例をダウンロードできます）

事例⇒[http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/jirei\\_kamainagayama.pdf](http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/jirei_kamainagayama.pdf)

町をあげて同じ方向に進むことにより、町内のどの小学校実践区においても読書活動が推進され、学校・家庭・地域の皆さんも、安心して取り組むことができます。

広報「教育しずくいし」10月号では、夏休み中の実践「我が家の家読（うちどく）取り組み」の紹介と読書週間に合わせた「親子読書のつどい」が紹介されています。こちらも、是非ご覧下さい。

広報⇒[http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/kouhou\\_shizukuishi10.pdf](http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/kouhou_shizukuishi10.pdf)

---

## 2 【家庭学習】「学習定着度状況調査」を終えて

10月7日（水）、県内約4万9千人の児童生徒を対象に2009年度学習定着度状況調査がおこなわれました。新型インフルエンザが猛威を振るう中、子どもたちは、一生懸命取り組んだことと思います。

翌日の岩手日報に校長先生のコメントが掲載されておりましたので、再度紹介したいと思います。

●盛岡市の上田小；佐々木保子校長

「個々の学力の伸びや学年平均を分析し、授業改善などに生かしていきたい。」

●盛岡市の仙北中；吉田道一校長

「数学や英語を身につけるには、ある程度の学習量が必要。結果を活用し、家庭学習の定着などにつなげたい。」

今頃、皆さんの学校でも結果の分析がおこなわれていると思います。両校長先生のコメントにあるとおり、これまでの取り組みを振り返り、これから活かしていくことがテスト（調査）の目的です。

また、研究主任を中心とした校内研究体制として、学級担任として、教科担任として、子を持つ親として、学校・家庭・地域の連携のあり方として、自分を振り返り、いろいろなことを気づかせる貴重な機会です。

市町村でも、これから各学校の結果を集約して市町村の児童生徒の実態分析にあたると思いますが、学校・市町村ともに聞き取り調査の「家庭学習」の状況と「読書活動」の状況については、教振実践区やPTA等に提示していただきたいと思います。

まずは、現実を直視すること。目を背けることなく、真摯に受け止め、必要な手を打つ。「学習定着度状況調査」の結果は、自分たちの取り組みに対する評価ですから。

以前より、「地域が、家庭学習にどのように関わったらいいのか？」という声が多く聞かれます。地域人材による「放課後子ども教室」の関わりと「洋野町教育振興運動リーダー研修会」で提示した私案を紹介します。

遠野⇒[http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/jirei\\_toono.pdf](http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/jirei_toono.pdf)

試案⇒[http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/reader\\_kensyuu.pdf](http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/reader_kensyuu.pdf)

テスト（調査）の結果を踏まえた取り組みの、これからの準備に参考となれば幸いです。

---

## 3 【読書推進】レッツ！読み聞かせ（その7）

～読み聞かせ方 5 「その他の気配り編」～

今回は、子どもたちに読み聞かせをする際の留意点についてお話します。

**Q 作者名、画家名は必ず読むべきか？**

A 「読まなくてもいいのでは？」と思う方もいるかもしれませんが、作者への礼儀であり、また、お気に入りの作者の名前を覚えた子どもが自ら読むようになるなど、読書の輪を広げることにつながります。

**Q 立って読むか、座って読むか？**

A 聞き手の子どもたちが椅子に座っている場合は、読み手は立ちます。聞き手の子どもたちが床に座っている場合は、読み手は椅子に座ります。教室で行う場合、机や椅子をどけて床にかたまって座って聞いてもらうのがベストですが、無理な時は椅子を持って見やすい場所に移動してもらいます。

**Q 読むときに気をつける点は？**

A 本ばかりを見ずに、聞き手である子どもたちを見て、目配りを忘れないようにしてください。眼で「あなたに向かって、読んでいますよ」と伝え、ザワザワしているようなら、しばらく黙っていることも必要かもしれません。

A 人は後追いしながら話を聞くので、間を取りながら内容を理解できるように、ゆっくり読んであげましょう。子どもたちが場面場面を想像できるように、余韻を残しながら読んであげましょう。一生懸命さが相手に伝わると相手がくたびれます。力を抜いて自然体でいいですよ。

A 質問攻め、説明攻めをすると、子どもたちは物語の世界に入れません。絵から読み取ってほしいのであれば、絵を見る時間をゆっくりとってあげましょう。読み聞かせは「国語」の授業ではないのですから、余計な質問・解説は不要だと思います。お話の世界に浸らせてあげたいですね。

**Q 読み聞かせが終わったら・・・。**

A お話を聞いて、幸せな気持ちになっている子どもたちには、その余韻に浸らせてあげたいです。そこで、感想を強要しないであげてください。「どうだった？」と聞かなくても、子どもたちの表情からわかると思いますし、その様子を見て、すでに読んだ自分自身の心もあたたかくなっていると思います。

もちろん、感じたことを言いたくてしかたがない子もいます。その子の思いは、時間の許す限りいっぱい聞いてあげて欲しいと思います。

次回は、～読み聞かせ方 6「淡々と読むとは？編」～です。

(振ちゃん) あのさあ。この間、協議会や推進委員会が発行している『広報』を紹介してくれたじゃない？その後、僕調べてみたんだ。

(教ちゃん) えっ？何を調べたの？

(振ちゃん) 教育振興運動って、5者の連携って言うでしょ。自分のこととして意識を高める「子ども」、それを指導・支援する「学校」・「家庭」・「地域」。だったら、「行政」の役割って何だろうって思ったの・・・。

(教ちゃん) それで、それで？

(振ちゃん) 地域ごとの課題は別にして、今の子どもたち全般の課題、つまり「全県共通課題」を市町村に住んでいる皆さんに提案し、方向づけることって「行政」の役割のひとつじゃないかなあ～ってね。

(教ちゃん) そうね・・・。あつ、それで市町村発行の『広報』を調べたのね。

(振ちゃん) そうなんだ。市町村の『広報』で教育振興運動を取り上げて、全戸配布されたら、実践区としてもすごく心強いと思うんだ。

●釜石市；生涯学習情報誌「まなびい釜石」

⇒ [http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/manabi\\_kamaishi.pdf](http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/manabi_kamaishi.pdf)

●雫石町；広報「教育しずくいし」（5～9月号）

⇒ [http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/kouhou\\_shizukuishi6.pdf](http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/kouhou_shizukuishi6.pdf)

[http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/kouhou\\_shizukuishi7.pdf](http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/kouhou_shizukuishi7.pdf)

[http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/kouhou\\_shizukuishi8.pdf](http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/kouhou_shizukuishi8.pdf)

[http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/kouhou\\_shizukuishi9.pdf](http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/kouhou_shizukuishi9.pdf)

(教ちゃん) 他の市町村でも、同じように取り組んでいると思うわ。この前の協議会発行の『広報』同様に、県内の『広報』を交流したら、おもしろそうね。

---

## 5 【みんなの声】ぺっこ言い隊

(1) 「教振メルマガ」いつも、楽しみに拝見させていただいております。特に、教ちゃん・振ちゃんの会話が大好きです。「へえ」とうなずきながら、読んでいます。そこで、一般の方（地域・学校・家庭）への周知のために、テレビ等でCMをしてはいかがでしょうか？

「教振メルマガ」ファンより（S町 Yさん）

(2) メールマガジン、拝見いたしました。うなずきながら、読ませていただきました。

それから、『だるまさんが』！これは、わたしも大・大・大すきな絵本です。笑いのつぼが同じなのではないでしょうか(\*^。^\*)？

(M市 Nさん)

※『だるまさんが』の作者である「かがくいひろし」さんが10月2日にご逝去いたしました。子どもたちにユーモア溢れる楽しい絵本を残してくださったことに感謝し、心からご冥福をお祈りいたします。

(あつし)

メルマガの感想や日頃思っていること、皆さんの声をどんどんお寄せください。  
⇒ [21kyoushin@gmail.com](mailto:21kyoushin@gmail.com)

---

## 6 【編集後記】 あつしのひとりごと

「竹下景子に 3000 点！ お願いします。」・・・で、ピンとくる人は何歳以上でしょうか？ 目の前 1.5m のところにいらした竹下景子さんは今も変わらず美しかったです。全国児童館・児童クラブ岩手大会でのひとコマです。

児童館職員からは、取り組みの様子とともに日頃感じていることの発表がありました。小学生の子どもたちやその保護者と真剣勝負しているその姿勢に感動し、涙が流れてきました。（すぐに涙が出てしまうのは、歳？）

子どもたちは、自分のことを真剣に受け止め信じてくれる大人の存在を実感できれば、ほとんどの問題と向き合い、自ら解決していく力を持っています。その大人が「親」であることが一番望ましいのですが、先生でも地域の大人でも誰でもいい・・・。いやいや、みんながそうありがたいですね。

11 月 1 日は、「いわて教育の日」です。4 日（水）の記念行事で配布される教育振興運動のチラシ」はこちら。（矢作中と上長山小の事例を紹介）

⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/21kyouiku1.pdf>

⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/21kyouiku2.pdf>

⇒ 第 8 号は、11 月 10 日（火）配信です。

★このメールへの感想、ご意見・ご要望は、こちらまで。

⇒ [21kyoushin@gmail.com](mailto:21kyoushin@gmail.com)

★教育振興運動に関する資料は、こちらまで。

⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/index.html>

★生涯学習の役立ち情報なら何でも「まなびネットいわて」まで。

⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/>

★子育てに迷ったら、ひとりで悩まず「子育ていわてケータイサイト」に。

⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/kt-shien/>

～～～配信元～～～

\* 岩手県教育委員会事務局 生涯学習文化課

\* 発行人：教育振興運動担当 佐藤敦士（さとう あつし）

転送はご自由です。どんどん転送してください。口コミは、あなたから始まります。「みんなでやろう！」という雰囲気あなたから作りだしてください。

⇒ 学校新聞の裏面に掲載しての各家庭への配布、回覧板を使っ  
自治会・子ども会への回覧も大歓迎です！

～～～